

ANA/JAL 2016 年度決算について

2017年5月8日

この度発表された ANA と JAL の連結決算数値を簡単に比較した。

(文面での数値は大括りして使用)

(要旨)

- ① 2016 年度は、JAL は大幅な減収減益で営業利益は 1,700 億円に。
ANA も収入減ながら利益は増え、営業利益は 1,400 億円になって JAL に接近。
- ② ANA/JAL の収入規模差は、ANA が国内旅客で 1,800 億円(36%)上回り、国際旅客でも 1,000 億円(24%)上回るようになった。
- ③ 2017 年度は JAL が更に減益となり、ANA は利益額でも JAL を上回る見込み。
予測の営業利益 ANA 1,500 億円、JAL 1,420 億円

1. 損益計算書概観

(収入) JAL は燃油サーチャージ減や円高影響もあって国際旅客収入が▲336 億円の減。

ANA は、同理由による減を、規模増による増収で補い、国際旅客収入は微増。

そのほか LCC(Vanilla)の規模増や、他社ハンドリング受託の増収もあった。

国際貨物は両社ともに、為替や燃油サーチャージ減の影響のほか、費用処理していた販売手数料を収入控除とする処理方法の変更もあり大幅減収となった。

(費用) 両社ともに燃油費減の効果が大きかったが、人件費増等がそれを相殺(特に JAL)する形となった。

(2017 年度予測) 両社ともに国際旅客で大幅増収を見込むほか、ANA は子会社化して合算される Peach の収入も上乘せとなる。

ANA は今期を上回る利益(営業利益 1,500 億円)を見込むが、JAL は整備費や IT 刷新等の戦略的支出のために減益(営業利益は 1,420 億円)を見込み、そのために利益額でも ANA が JAL を上回る見込み。

JAMR レポート

2. 旅客に関わる指標概観

(国内旅客) 両社ともに供給を絞ったが旅客は増え、搭乗率は上昇。

しかし単価減(▲2~▲3%)のために減収となった。

LCC や SKY の低運賃が影響したものと思われる。

(国際旅客) JAL はほぼ前年並みの需給規模ながら既述の単価減によって大幅減収、
但し搭乗率は80%を超えた。

ANA も同理由があったが、規模増(座席^キ+10%)を上回る旅客増によって搭乗率も向上し、僅かながら前年を上回る収入となった。

3. 財務体質(貸借対照表)概観

(JAL) 1.7兆円の総資本のうち、純資産は1兆億円(58%)。

有形固定資産(航空機等)が8200億円あるが、有利子負債は1000億円。

留保利益は総資本の半分を超える6500億円。手元資金は4000億円超。

(ANA) 2.3兆円の総資本のうち、純資産は9200億円(40%)。

設備投資は大きく、有形固定資産(航空機等)は1.4兆円。

これを有利子負債7100億円、株主出資6000億円、留保利益3300億円で賄い、手元資金は3200億円。

なお、5月8日時点の株価時価総額は両社1.2兆円でほぼ拮抗。

《図表1》連結損益計算書

	ANA				JAL				来期予想	
	2015	2016	差	率	2015	2016	差	率	ANA	JAL
国内旅客	6,856	6,783	-73	98.9	5,013	4,986	-26	99.5	6,810	5,030
国際旅客	5,157	5,168	11	100.2	4,488	4,152	-336	92.5	5,710	4,550
貨物郵便	1,554	1,324	-229	85.2	915	783	-133	85.5	1,390	810
他の航空運送	1,965	2,088	123	106.2	1,636	1,673	37	102.3	2,830	3,000
他の収入	2,380	2,289	-90	96.2	1,315	1,296	-19	98.6	2,360	
営業収益	17,912	17,653	-259	98.6	13,367	12,890	-477	96.4	19,100	13,390
営業費用	16,547	16,197	-350	97.9	11,275	11,186	-88	99.2		
営業利益	1,365	1,455	91		2,092	1,703	-389		1,500	1,420
(率)	7.6	8.2			15.7	13.2			7.9	10.6
営業外収支	-57	-52	6		0	-53	-53			
経常利益	1,307	1,404	97		2,092	1,650	-442		1,400	1,370
特別損益	3	-9	-13		-18	-22	-4			
当期純利益	782	988	207		1,745	1,642	-103		1,250	1,000

《図表2》 旅客に関わる指標

	ANA				JAL				
	2015	2016	差	率	2015	2016	差	率	
【国内旅客】									
旅客収入	億円	6,856	6,783	-73	99	5,013	4,986	-26	99
旅客数	千人	42,665	42,968	303	101	31,644	32,570	926	103
旅客 ^千 *	百万 ^千 *	38,471	38,991	520	101	24,342	24,550	208	101
座席 ^千 *	百万 ^千 *	59,422	59,081	-341	99	35,869	35,424	-446	99
搭乗率	%	64.7	66.0	1.3		67.9	69.3	1.4	
旅客単価	円/人	16,070	15,787	-283	98	15,841	15,309	-532	97
【国際旅客】									
旅客収入	億円	5,157	5,168	11	100	4,488	4,152	-336	93
旅客数	千人	8,168	9,119	951	112	8,460	8,395	-65	99
旅客 ^千 *	百万 ^千 *	40,635	45,603	4,968	112	40,305	40,633	328	101
座席 ^千 *	百万 ^千 *	54,711	60,148	5,438	110	50,564	50,622	58	100
搭乗率	%	74.3	75.8	1.5	102	79.7	80.3	0.6	101
平均距離		4,975	5,001			4,764	4,840		
旅客 ^千 *単価	円/ ^千 *	12.69	11.33	-1.36	89	11.13	10.22	-0.92	92

* 距離計算が異なる(ANA:運航距離、JAL:大圏距離)

《図表3》 貸借対照表

	ANA	JAL	差(ANA-JAL)
	億円	億円	億円
現預金、有価証券	3,188	4,041	-853
営業未収入金	1,559	1,427	131
航空機、建設仮勘定	11,596	7,732	3,864
他の有形固定資産	2,007	517	1,489
繰延税金資産	879		879
その他資産	3,915	3,570	345
資産合計	23,144	17,288	5,856
営業未払金	1,792	1,592	200
有利子負債	7,080	1,042	6,038
リース債務	219	110	108
退職給付引当金	1,568	2,385	-817
その他負債	3,462	2,235	1,228
負債合計	13,902	7,254	6,649
資本金・資本剰余金	6,020	3,644	2,376
利益剰余金	3,348	6,477	-3,129
その他	-127	-87	-40
純資産合計	9,242	10,034	-792
(時価総額 5/8)	11,893	12,051	-159

以上